

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 さんむままのりあ			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 9月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 9月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 12日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いつも保護者からの相談を受け入れられるように配慮している。	活動中、子ども対応と保護者への台頭と職員を配置している。	個々の相談のみならず、保護者会等で研修の場所を設ける。
2	個々の発達に応じた支援に取り組んでいること。	個別指導とグループ活動両方に参加していただき、お子さんのいろいろな面を見ていただく。	個別に伝える以外に、事業所としての在りよう、マニュアル等、さらに説明する必要がある。
3	必要があれば、こども園や学校と連携を取り協力している。	保護者からの意向により、伝えにくいお子さんの特性や要望を伝え、必要があれば訪問している。	送迎がないので関わりが弱いと思われる所以、積極的に各機関に挨拶をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体的な保護者会の開催が足りなかった。	それぞれ個別、グループで報告・相談等を受けていたが、事業所として全体の働きかけが足りなかった。	年に二回は保護者会を開く。仕事等で参加できない保護者のために補備日を設ける。
2	防犯マニュアルの説明、避難経路の説明など不足。	避難訓練の強化と予備日を設ける必要がある。	個別で来所している保護者への配慮と保護者会開催時の全体説明。
3	地域への発信。	早期療育の必要性を広く地域にアピールしたい。	地域に呼び掛け、自由に参加できるスペースと時間を設け、皆さんに楽しんでいただきたい。